

2020年 10月24日(土)15:00開演 ゆめたろうプラザ 輝きホール(全席指定)

主催:NPOたけとよ・武豊町教育委員会
後援:美浜町・美浜町教育委員会・美浜町観光協会
※詳細は、ホームページ、チラシをご覧ください。

チケット【前売】一般5,000円 ゆめプラメイト4,500円
こども(小中高生)1,000円
【当日】一般・ゆめプラメイト5,500円
こども(小中高生)1,500円
発売日 第1次発売 7月18日(土) ゆめプラメイト限定
第2次発売 7月25日(土) 一般・ローチケ・
アニメイト・フォアレーゼンTicket

※フォアレーゼンTicket、ローチケ、アニメイトは一般チケットのみ
出演:小野友樹、白井悠介、小松昌平
サクソフォン:佐々木晴志郎 作曲・ピアノ:森めぐみ



小野友樹

白井悠介

小松昌平

そして「平治の乱(1160)」へ

「保元の乱」が終わると、後白河天皇は位を息子の二条天皇に譲り、後白河上皇となって院政を開始する。そして、側近 藤原信西に保元の乱の事後処理をまかせる。権力を握った信西は、平清盛ら平家を高い位へと引き上げるが、源義朝ら源氏を冷遇する。一方で、政治の実権を信西と清盛に握られて面白くない側近 藤原信頼らは、信西を失脚させたくてしかたがない。そこで、冷遇を受けて不満を募らせる源義朝と結びつき、「打倒信西」で一致。義朝は、平清盛が熊野詣に出かけて留守の隙に、二条天皇と後白河上皇らを皇居に幽閉して、クーデターを起こす。そして、信西の屋敷を焼き、逃げる信西を自害に追い込んでしまう。

しかし、二条天皇は、清盛の指示により女装姿で皇居から脱出する。そして、摂関家や多くの公家とともに京の六波羅邸に集まり、クーデターを起こした藤原信頼と源義朝への追討宣旨を下す。二条天皇の命を受けた平清盛らは官軍となり、多くの兵と共に信頼と義朝の討伐に向かったのである。これが「平治の乱」である。



<大御堂寺野間大坊>
歴史は古く、天武天皇(673~686)の時代に始まります。本堂は3度の火災にあい宝暦4年(1754年)に鎌倉様式にのっとり再建されたもの。愛知県重要文化財に指定。

<源義朝公の墓>
「ここに一ふりの太刀ありせば…」家臣の謀反により無念の死を遂げた義朝公の霊を弔い、今もたくさんの木太刀が奉納されています。



義朝の敗走

官軍に追われた信頼と義朝は、六条河原で敗れ、義朝は敗走。また、義朝の嫡子の頼朝は逃げる途中で義朝とはぐれ、捕えられて伊豆に流罪となり、信頼は六条河原で斬首となった。

義朝は、家臣 鎌田正清らとともに、美濃の青墓より杭瀬川を柴舟で下り、伊勢湾を渡って野間内海荘に辿り着く。そこで野間内海荘の庄司であり、鎌田正清の舅である長田忠致と息子の景致の元に逃げ込む。長田親子に酒と食事をふるまわれ、義朝らはようやく一息をつく。しかし、そうこうするうちに屋敷には義朝を捕えよとの下知が届く。罪人を匿ったことが露見すれば、長田氏は滅んでしまう。忠致は覚悟を決め、義朝を薬師堂の湯殿へ案内し、郎党に殺害を命じる。かくて裸の義朝は



<お絵解き>野間大坊ご住職による源義朝公御最期のお絵解き

「ここに一ふりの太刀ありせば かかる遅れは取らぬものを…」
と言い残し、非業の最期を遂げたのである。

国指定重要文化財「絹本著色源義朝最期図」

「源義朝公御最期のお絵解き」を聴きたくて、美浜町にある野間大坊を訪れた。

野間大坊の歴史は古く、天武天皇(673~686)の時代に『阿弥陀寺』として建立。のちに源義朝を供養するために源頼朝が本尊様の念持仏を寄進し、塔や金堂、講堂など諸設備が調った七堂伽藍を造営したとされる。

お寺には、尾張藩初代藩主 徳川義直(1600~1650)の命により、狩野探幽が18歳のときに描いたとされる国指定重要文化財の「絹本著色義朝最期図」、さらに、頼朝が上洛の途上に野間に立ち寄り、父の供養のために修した大法会の様子を描いた「絹本著色義朝先考供養図」が保存されており、「平治物語」に依拠した絵解き台本も伝わっている。

ご住職による「源義朝公御最期のお絵解き」(要予約)は、大河ドラマにまつわる話や、義朝を助けたとき、現地の人が授かったとされる名字の由来なども交えながら、絵図の精緻なレプリカの前で語られる。まだ未体験の方は、ぜひ訪れていただきたい。祀られているご本尊を拝顔し、古に思いを馳せるひと時が、また興味深いのではないだろうか。

朗読劇「ここに一ふりの太刀ありせば」

人気声優が楽器の生演奏とともに語る歴史絵巻「フォアレーゼン」。今回は、源義朝を主人公に、武豊オリジナルの舞台を作作する。後半には声優らによるトークショー。はたしてどんな展開になるのか、期待ひとしおである。

文責:高橋洋子(NPOたけとよ)

参考:

- 『戦記物を楽しむ』<http://chiro3.sakura.ne.jp/> より「保元物語」「平治物語」
- 『知多半島の風』<https://www.nakanoprint.co.jp/chitanokaze/> より「義朝の最後と長田忠致」本美信幸(郷土史研究家)
- 『大御堂寺 野間大坊』<https://nomadaibou.jp/>